



『命あつての物種』 ものだね

今、昔の人がよく言っていたこの言葉がほんとうに身にしみて実感されます。

突然の再休校となり、保護者の皆様には混乱やご苦労をおかけする事態となり申し訳ありません。子どもたちにとっても今回は新しいクラスでの学びに十分になじむこともできず、ましてや1年生は学校の生活が身につく間もなく、そのことを思うとたいへん心苦しい思いがあります。小学生にとっては、教科の内容はもとより、仲間と生活し活動して人とつながりや役割を果たすことの学びが大切ですが、それらの機会がたびたび奪われる事態となりました。

しかし、子どもたちの健康と命が最優先であり、子どもたちはまだまだ何十年の長い人生があるわけですから、命があれば学びはいくらでもできるという思いでご理解をいただければ幸いです。とりあえずわずか1週間余りの1学期のスタートでしたが、1年生38人と転入生8人をむかえ学校も活気づきました。6年生が1年生のお世話などの役割を前向きに果たす姿など、どの学年にも成長がみられました。

休校期間中も感染症予防に十分気をつけるようにご指導よろしく申し上げます。また“病気を正しく恐れる”ことが大切で、この機会に不確かな情報に惑わされないことや人権侵害の発言や発信のあやまちについて学びを深めてくれたらと思います。

子どもやそれをとりまくおとなの健康と命のため、学校・家庭・地域で力を合わせて難局を乗り越えられるようよろしく願いいたします。またそれぞれのご家庭に生活や仕事への悪影響が及んできていることと思います。ご家族・親族も含めて、ぜひ健康にお気をつけください。



6年生と遊ぶ1年生



6年生は1年生に手洗いを指導する係も特設

家庭訪問の見合わせについて 登校日の中止について

訪問初日の当日になってからの見合わせでたいへんご迷惑をおかけしました。市内で新たな感染者が出始めその詳細がつかめないことや、当日になってからも辞退をされる方が増えてきていた状況を考え、急きょいったん見合わせと判断をさせていただきました。中学校との調整も間に合わなかったことも含め申し訳ありませんでした。本年度はスタートに懇談会等でお顔合わせができず、特に初顔合わせやなじみのうすい担任との出会いの場が作れずこのような時期に不安もあろうかと思いますが、子どもさんについてのご心配やお伝えいただいたほうがよいことは、ぜひお電話でも遠慮なくお知らせください。

また休校中の登校日についても、方針の変更でご迷惑をおかけしました。今後も状況の変化により、日々変更点ができることが予想されます。できるだけ情報提供は迅速にさせていただきます。ご理解をお願いいたします。

養正婦人会様の手作りマスク

手作りマスクの作製を引き続きお世話になっていて、さらに続けていただくそうです。ガーゼ・ゴムひも等提供いた



ウラ面に続く

いた保護者の方にはありがとうございました。（少しでもあれば随時お願いします）まずは給食配膳時に必要なマスクがない児童に優先的に3枚ずつ渡してきました。遠慮なくお申し出ください。作製された枚数も増えてきているので、近々順次ひとり1枚ずつの配布もしていきます。

読書のすすめ③

本年度からの新しい学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」がメインテーマです。その対話的な部分について、授業が再開されてもペアやグループで考えあい学びあう部分はひかえ気味にいくしかありません。前にも書きましたが、対話的の意味には文章を通じて書き手が伝えたいこととの対話や主人公や歴史上の人物と向き合うこともすべてが対話です。



ユダヤの人々は長い迫害の歴史の中で、財産や土地は奪われても頭に入れた知識はだれも奪うことができないから子どもに読書を徹底させるそうです。このような事態で休校にはなっていますが、ぜひピンチをチャンスととらえて、読書の機会をふやしてほしいと思います。休校前日にも急きょ図書貸し出しをしました。登校日がなくなり入れ替えができなくなりなりましたが、そのまま持っていてください。

連絡です

当面の行事について

教科の内容以外にも様々な学びや体験ができなくなり不本意ではありますが、とりあえず次のとおりとさせていただきます。

5/11 交通安全教室→中止

5/22 引き渡し訓練→中止 ただし災害時に必要なことなので説明は配布します。

5/29 芸術鑑賞→中止

6/3.4 5年生キャンプ→中止

6/9 授業参観・懇談会→中止

修学旅行はすでにご連絡してありますとおり12/4.5に延期されています。

※PTA行事・子ども会行事については別途検討をしております。

令和2年度卒業証書授与式

津市の卒業式の日取りが決定しました。

令和3年3月18日（木）

この事態が収束し、晴れて卒業式ができることを切に願っています。

休校中の安全について

他県で休校中の子どもに関する事故や事件などが報道されています。職員のほうでも毎日午前・午後に防犯・安全に重点をおいて見回りをしています。また、平素津警察署・大門交番には登下校時のパトロールを重点的に行ってもらっていますが、休校期間中は日中に重点をおいていただくように依頼しました。お気づきのことがありましたらお知らせください。

中日新聞の子どもの投稿にありました。本校でも2年生で助産師さんの命の授業で同様の言葉をもらっています。

生きていてだけで100点

山内 啓瑚 小学生
(愛知県知立市) 10歳

学校で命の教育のじゅ業を受けました。これまで自分の命のことを考えたことありませんでした。命がこの世にできたことはきせきたと思えました。「生きていてだけで100満点」というフレーズがすごく心にひびきました。

じゅ業のことをお母さんに話したら僕に「言ういきました。「生まれてきてくれてありがとうね。元気に生きていてくれてほんとうにうれしいよ」と。僕がど

教えてくれました。それからお母さんは「生きていてからこそ楽しいことも悲しいこともいろいろなことをいけんけんできるんだよ」と言いました。

僕はお母さんとうしろ話をした中で、せつかくもらった命なのだから自分の好きなものを見つけて全力でとりくみたいと強く思いました。お父さんとお母さんに、僕はとても感謝しています。

朝日新聞の17日夕刊には若いお医者さんがイラストで感染症の解説を作ったと紹介されていました。「諏訪中央病院」で検索するとそのホームページに掲載されています。機会があれば親子で見いただければと思います。